

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	2
1.	学校関係者評価の基本方針	2
2.	学校関係者評価委員名簿	3
3.	学校関係者評価の実施状況	3
4.	学校関係者評価の評価方法	4
II	学校関係者評価委員会 評価報告書	5
	総評	6
1.	平成 25 年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画	7
2.	評価項目の達成及び取組状況	7
基準 1	教育理念・目的・育成人物像等	7
基準 2	学校運営	7
基準 3	教育活動	8
基準 4	教育成果	8
基準 5	学生支援	8
基準 6	教育環境	9
基準 7	学生の募集と受入れ	9
基準 8	財務	9
基準 9	法令等の遵守	10
基準 10	社会貢献	10
基準 11	国際交流	10
	総合評価 (各委員コメント)	11
III	学校関係者評価委員会議事録	12

I. 学校関係者評価の概要及び実施状況

1. 学校関係者評価の基本方針

(1)基本方針

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行う事を方針とし、実施および公表については「窪田理容美容専門学校評価実施規程」に則って実施される。

(2)目的

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価の目的は以下の通りである。

- ①自己点検評価の結果を学校関係者により評価し、自己点検評価の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者（卒業生、関係業界・団体、保護者、地域企業など）らとの連携を図り、意見を聴取し、学校運営改善を努める。

(3)実施

窪田理容美容専門学校における学校関係者委員会は以下のように年2回実施される。

- ①第1回目(9月実施)の委員会は主に、前年度の実績を評価した自己点検評価の報告を行い、委員会にて評価を実施する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容についても報告する。
- ②第2回目(3月実施)の委員会は主に、1回目で評価・意見に基づき、その内容を反映させた取組み・実績を報告する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容や次年度以降の重点的に取り組む目標・計画を報告する。

2. 学校関係者評価委員名簿

窪田理容美容専門学校の学校関係者評価委員は以下の通りである。

	氏名	所属	役職
卒業生	大平正司	協同組合理容芸術協会 (HSA)	会長補佐
関係企業・団体	五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
関係企業・団体	田中 保範	東京都美容生活衛生同業組合	理事・葛飾北支部長
地元企業	本田 康博	(株)本田美容商事	代表取締役
保護者	庄司 直美		

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

1 学校関係者委員会実施日時・場所

日時：平成26年9月26日（金） 15：30～17：00

場所：窪田理容美容専門学校 本館8階教室

2 学校関係者評価委員会 進行状況

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 開会（挨拶、配布資料確認） | 15：30 |
| (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） | 15：30～15：35 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 15：35～15：40 |
| (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 | 15：40～17：00 |
| ①重点的取り組み項目（評価判定） | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定） | |
| ③学校運営（評価判定） | |
| ④教育活動（評価判定） | |
| ⑤教育成果（評価判定） | |
| ⑥学生支援（評価判定） | |
| ⑦教育環境（評価判定） | |
| ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定） | |
| ⑨財務（評価判定） | |
| ⑩法令等の遵守（評価判定） | |
| ⑪社会貢献（評価判定） | |
| ⑫国際交流（評価判定） | |
| (5) 質疑応答・意見交換 | |
| (6) 閉会 | |

4. 学校関係者評価の評価方法

本学園の自己点検・自己点検評価を重点的に取組む項目及び、11分類59項目、併せて62項目についての自己点検評価の結果を1段階から4段階の4段階評価で評価を行い、自己点検報告書にまとめる。学校関係者委員が行う学校関係者評価は自己点検評価報告書の評価について、「適切」、「不適切」の2択で評価を実施する。各項目については当日に取組みや目標及び計画についての説明を自己点検評価委員から受け、総合的に判断する。評価報告書に記載されている「総合評価結果」については、各基準の項目の平均値ではなく、各学校関係者評価委員の評価を反映させた評価結果としている。

Ⅱ. 学校関係者評価委員会 評価結果報告書

総評

今年度の窪田理容美容専門学校の自己点検評価結果を拝見し、学校全体の取り組みや目標などが記載されており、評価項目も隅々まで行き届いたものだと考えます。窪田理容美容専門学校は64年という理美容学校でも長い歴史を持ち、業界に多くの卒業生を輩出している学校ですが、今回、学校関係者評価委員会に参加して、我々、各業界や立場の異なる学校関係者評価委員の立場として評価やご意見を述べさせて頂きました。

全体的な評価としましては至って適正な学校運営・活動を実施している学校だという結論を再認識致しました。前年度に挙げられた目標や計画を全てという訳には参りませんが、着実に推し進められており、安心致しました。劇的な変化ではなく、確実に一步ずつ前進している姿に好感が持てる次第です。まだ進捗状況としては未達成のものや計画段階にある項目もございますが、窪田理容美容専門学校が理美容業界にとって、社会的責任を果たそうという姿勢は評価に値すると思います。

本評価委員会の形式も毎回変化するのも、改善努力を行おうとしている現われだと感じ、今後も窪田理容美容専門学校と各関連業界および、卒業生や保護者など多くの関係者と連携を取り、様々な取り組みを実施し、素晴らしい学校と言われる学校づくりに期待致しております。

窪田理容美容専門学校
学校関係者評価委員会一同

1. 平成 25 年度に定めた重点的に取り組む必要がる目標・計画

重点項目 1 職業実践専門課程に係る取り組みは十分に行われたか

総合評価結果 ③	適切	5 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・目標である項目を取組んでいく事により教職員全員に目的意識ができると思う。
- ・企業連携された実習が十分にされていると思う。これまでの実績をもとに各項目共に十分取組まれていると考える。
- ・教育課程編成委員会での取組みも報告され、活発な意見交換がなされている。カリキュラムの意見交換もあり、有意義と考える。
- ・卒業後、就職先の理美容室で実務に役立つ科目が重点的に改善に取り組んでいる努力が見られる。

重点項目 2 各学科のカリキュラム構成変更の取り組みは十分に実施されたか

総合評価結果 ④	適切	5 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・各学科についての討議が良く計画に反映されている。
- ・業界のニーズをよく把握されていて、現況に合っている。
- ・新しい事への取組みが出来ており、学生の満足度を少しずつではあるが、上昇していると感じる。
- ・重点項目 1 を更に進化させる為の各教員の研修が進められ、生徒及び理美容室にとっては大変喜ばしい事ではあるが、各教員の負担が大きくなる事へのサポートは不可欠に思う。

重点項目 3 教職員の研修および人員確保への取り組みは十分になされたか

総合評価結果 ③	適切	5 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・計画的に実施されていると考える。今後の入学者数などを考慮しながら、人員の適正人数を確保していくことが望ましい。

- ・各職員が企業へ出向いての研修が必要と感じる。
- ・研修するだけでなく、勉強した内容をどのように職務に活かしていくかが大事だと考える。
- ・重点項目 2 を含め、研修及び人員確保に対する経費等の負担増大は避けられない為、文部科学省のサポートは必要と考える。

2. 評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人物像等

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・よく実施されているが、さらに深めていって貰いたい。
- ・全体の中で、基本的な授業（専門知識・専門技術以外）を実施し、これらの基準1の項目を学生に伝えていって貰いたい。
- ・1-1にも記載されている窪田理容美容専門学校の校訓の中の忍耐をより強調し、現代の我慢する力に欠ける現代の若者に伝えていって貰いたい。
- ・1-4については学園の根本的な部分なので、全教員にしっかり周知して頂き、ブレの無いようにして頂きたい。
- ・学校側の意識や理念等が生徒、保護者に理解されているように見受けられる。

基準2 学校運営

総合評価結果 ③	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・エルモサ・Kの活動の精査を行い、例えば経営者グループと非経営者グループに分け、それぞれの目的をもう一度検討しても良いと思う。
- ・2-10については自己点検評価の②ではなく、③でも問題ないと思う。自己評価が低すぎる。
- ・定められた固定的な流れが必要な部分と流動的に柔軟な対応を取っている部分が明確である為、好感が持てる。
- ・2-10については、その意味の捉え方で評価が変わる。本校の場合、理美容業界に特化した考え方で捉えるのが妥当。
- ・項目一つ一つはまだ改善の余地はあると考えるが、整備されながら着実に前進しているよう感じる。

基準 3 教育活動

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・各学科ともに新たに生徒の時代に合うカリキュラムを提供する必要がある。
- ・さらに業界団体に協力を仰ぎ、情報収集等を行う必要がある。
- ・3-23 研修は実施されているようだが、研修後にどのようにフィードバックされているかのチェック体制がない。今後はそこにも注力してもらいたい。
- ・基準3については概ね適切である。3-24については、現在、学校側と業界側との交流を進めている事が評価できる。

基準 4 教育成果

総合評価結果 ③	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・社会現象として離学、離職者が増加する中で、良く対応されています。
- ・卒業生とエルモサ同窓会を通じてキャリアの効果を期待します。
- ・4-28 のどんな資格を取得するにしても合格率は毎年平均以上のものを出してほしい。
- ・卒業生のキャリアを理美容業界に限定するなら、追跡が容易だと思えるが、他業種で仕事をしている卒業生に対しては、限界はあると思う。
- ・4-31 について、卒業生本人へのアプローチも大切だが、就職先のオーナー等とのコミュニケーションを更に創り上げる事に重点を置くと良いと思う。

基準 5 学生支援

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・経済的に地域格差が大きくなるので、支援策を充実させてください。
- ・お店から通う学生（店通生）の紹介システムを考えて貰いたい。社員寮を持っている企業の紹介やその他、勉学しやすい条件を整えて貰いたい。

- ・他の職種に比べ、理美容業界自体、再就職しやすいという実態がある。再就職支援は今後も注力して
いって貰いたい。
- ・5-35について、各学校側の支援体制には限界がある。厚生労働省及び文部科学省の経済的支援体制に
今後期待していきたい。

基準6 教育環境

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・自己点検評価として、6-42、6-43は③としているが、他の学校に比べ十分充実している。
- ・2年間の教育機関に必要な体制は十分整っているように思う。
- ・6-43の地域防災ボランティアチーム KBT お助け隊の取組みはとても良い。
- ・特に問題なく、環境は整っていると考えます。

基準7 学生の募集と受入れ

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・18歳人口の減少は今さら提起する問題ではなく、十分に対策は取れているように感じる。
- ・募集活動についても前年度よりもコンセプトが明確になっている為、解り易い。
- ・各分野や学校種別を越えて、現代は学生募集が過熱している状況において、コンプライアンスを遵守
した適正な募集活動を行っていると考えます。

基準8 財務

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・収入に関しては、学生数（入学者数）に依るもので、それ以外についてはよく管理されている。
- ・財務情報を公開してから、まだ日が浅く、今後も積極的に努力して公開に努めて貰いたい。

・差しあたって、問題が見当たらない。

基準 9 法令等の遵守

総合評価結果 ④	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・自己点検評価については、学校自体で今後も精度の高いものなるよう努力していったい。

・9-54について、自己点検評価委員が楽観的に、または悲観的に評価する事により、全く異なった結果になってしまうと思う。自己点検評価委員会内で統一的な基準を持ち、研鑽して貰いたい。

基準 10 社会貢献

総合評価結果 ③	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・自分の団体でも学校の施設を借りている。教育カリキュラムが多様化している中、良く活動している
と考える。

・社会・地域貢献については今後も積極的に推し進めて貰いたい。

・10-57のKBTお助け隊の取組みは大変評価できる。

基準 11 国際交流

総合評価結果 ③	適切	5人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

・入国管理法など理美容業界を取り巻く法律の規制は多いが、その範囲内で良く活動していると思う。

・11-59の戦略については、しっかり持っているように思われる。②という評価は低いのではないか。

・パリでの国際交流の実績は評価できる。基準11の国際交流の実績と留学生の受け入れ戦略を同じ基準
内で評価する事はとても難しい。

以前はフィリピンからの留学生が多くいた事が思い出されます。アジアからの留学生の受け入れ体制は
現状、留学生が在籍してなくともしっかりと整えるべき課題だと思う。

総合評価（各委員のコメント）

大平 正司委員

窪田学園の教職員の努力も認めつつ、時代の流れを良く掴み、各項目にある計画・目標を着実に推し進める事が大事になると思う。教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会でも今後、より多くの活発な意見が検討される事を望みます。

五十嵐 義昭委員

大変良くまとめられている自己点検報告書だと思う。日本の大問題である人口減少に負けない魅力を有する学校づくりを目指して、さらに革新し続けて頂きたい。

田中 保範委員

学校が実施している自己点検評価は大変評価されていると思う。かなり厳しい評価を自身で行っている事が伺い知れる内容でした。また自己点検評価および学校関係者評価は文部科学省の指導の上、行われていると思います。今後も省庁のより多くサポートをお願いし、国家国民の更に期待される学校になって頂きたいと思います。

評価委員会の進め方ですが、事前に完成した自己点検報告書を確認させて頂けると、より多くの評価や意見交換が活発になると思いますので、ご検討ください。

本田 康博委員

創業者の窪田金一郎先生の頃から、本校を知っているが、本委員会に参加して、具体的な取組みを知る事ができ、驚きと共に大変有意義だったと感じています。網羅された点検項目の細かさや取組みはとて好感が持てる。今後も積極的に学校づくりに取り組んで貰いたいです。

庄司 直美委員

ヘアショーやコンテストなど生徒一人一人が真面目に取り組んでいる様子が見られ、大変良いと思います。個人的に保護者としては学費を総額表記にしてくれているのが明確で、とても助かっている。

Ⅲ 学校関係者評価委員会議事録

平成 26 年 9 月 30 日

平成 26 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 平成 26 年 9 月 26 日(金) 15 : 30～17 : 00

2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 8 階教室

3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
大平正司	協同組合理容芸術協会 (HSA)	会長補佐
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
田中 保範	東京都美容生活衛生同業組合	理事・葛飾北支部長
本田 康博	(株)本田美容商事	代表取締役
庄司 直美	在校生保護者	

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
池宮 慧泉	校長
大澤 克喜	教務部長
窪田 寛	教務課長
岡田 究	広報渉外課長
窪田 崇	事務長

4. 進行状況

- (1) 開会 (挨拶、配布資料確認) 15 : 30
- (2) 出席者紹介 (評価委員、窪田学園教職員) 15 : 30～15 : 35
- (3) 理事長・校長挨拶 15 : 35～15 : 40
- (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 15 : 40～16 : 45
 - ①重点的取り組み項目 (評価判定)
 - ②教育理念・目的・育成人物像等 (評価判定)
 - ③学校運営 (評価判定)

- ④教育活動（評価判定）
- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 45

(6) 閉会 17 : 00